

## 第5回横須賀市観光振興推進委員会 会議要旨

日 時：平成28年1月20日（水）14時00分～15時50分

場 所：横須賀市役所本館3号館3階 301会議室

### 1. サブタイトル（案）「次世代につなげる観光地域づくり」について

- ・汎用性が高く、良いタイトルという見方もできるし、具体的な戦略が反映されたものではないという見方もできる。
- ・サブタイトルは「誰にメッセージするか」というところがあるが、事務局の案は市民に向けたものと言える。
- ・観光立市を実現し観光を軸にして地域経済を活性化させる。それを続けていかなければならないという意味で提案させていただいた。
- ・今の事務局の話を知ると少し理解できたので、この案でいくのであれば、説明を記載すれば良いと思う。
- ・観光立市の実現は簡単なものではないし、時間もかかるので、継続性、持続可能性をしっかりと高めていくことは重要だと思う。横須賀ならではの部分は実施計画で定める方法もある。一方で「次世代につなげる」というのが、この計画の中で、どのように次世代につなげるのかが分かりにくい。観光の推進主体の強化は、次世代にしっかりとつなげていく部分で非常に大事なことである。そういったところを見せた方が良いのではないか。
- ・観光を1つの産業として始めていくのであれば、市民だけを対象にするといったら40万人くらいなので、産業の柱に持っていくのは非常に難しい。主体的に外部から観光客を呼び込むような、もう少し強い戦略を出しても良いのでは。このままでは、市民のための観光地域づくりみたいにしか受け取られない。
- ・例えば「介護離職ゼロへ」「待機児童ゼロへ」などのように「横須賀市来訪観光客倍増」「観光消費額2倍」などの数字を入れたほうが強いサブタイトルになる。
- ・横須賀市では人口の低減が急速に進み、地域が崩壊する。それを埋めていくのが観光立市であり、だからこそ次世代に残していかなければいけない。その意味で、「次世代につなげる」ということを強く出すべきだと思う。サブタイトルの後に、観光立市を目指す理由を記載したほうが良い。

- ・観光立市になるために、次世代につなげていこうということを表現したかった。表現がマイルドというのはそのとおりだと思う。
- ・事業者には狭い意味での観光事業者は少ない。市民も横須賀のことを観光都市とは思っていない。観光立市を実現するためには、基礎部分を変えていかなければならないので内向のメッセージになっている。
- ・今の横須賀は観光産業が非常に小さな器だという部分で、その環境を整備していくのは行政だと思うが、実際にやっていくのは地域で活躍している企業だと思う。そうした中で、市場原理に基づいた産業集積は進むけれども、本市観光産業への影響力の大きな業種や観光事業者を計画的に誘致していくことも進めますという、今いる人達は、そんなに頑張らなくても良いと見えてしまう部分がある。観光を産業の柱としていくためには、今いる人達を喚起していかなければいけないと思う。
- ・横須賀の観光は都市型観光で、都市のにぎわい、魅力、楽しさで人を引き付けるものだから、いわゆる典型的な古い観光地の観光戦略とは少し違う。ここでは地域事業者の気持ちは重要になってくると思う。
- ・サブタイトルは内部向けの部分と外部向けの部分を入れて、観光を産業として育てていくという意味と、地域の未来のためだということを示すのも良いと思う。他の都市と差別化するのであれば「国際観光」や「開国」を入れるのも良いのでは。
- ・次世代につなげるという意味が読み取れない部分があるので、横須賀の地域特性・素材として今あるものを次世代につなげていこうというものを入れていくと、タイトルにつながっていく。

## 2. 「基本戦略」について

- ・戦略1から6までは全部並列なのか。もし100のパワーがあったら、それを6個に分けて基本戦略を実施したところで、数値目標は達成されるかが気になった。
- ・戦略1の「観光魅力創出戦略」については「文化・芸術・芸能」を加えてほしい。戦略2の「観光需要獲得戦略」について、グルメとお土産と記載しているが、横須賀に定番のお土産があったらどんなに強いだろうかと思う。また、観光客が宿泊するようになると、消費額が増えるのは確実なので、宿泊施設の誘致も推進してほしい。戦略3の「受入環境充実戦略」の周遊については、観光タクシーの企画や、定額の観光プランの価格表などの仕組みを作ると、予算を組みやすいし、タクシー業界も潤う。戦略4の「観光情報発信戦略」の観光情報のところで、「開国の街よこすか」が載らなかったのは残念。
- ・現状を8つの観光力という形で分析し、取り組むべきことを6つの戦略という形で示しており、まとまっている。ただ、戦略の実施について優先順位をつけるのは必須だと思う。また、推進主体が分かりにくいので、記載すべきである。
- ・基本戦略について、もう少し記載内容を増やして、市民や事業者のアクションにつながっていくようにした方が良いと思う。
- ・市の基幹産業というのは、どうなったら基幹産業となるのか。観光を産業の柱にすることを目指すのが観光立市なのだとすると、数値面でどうなっていれば産業の柱と言えるのかが気になった。
- ・細かい定義はないが、今横須賀で基幹産業だと思われる、自動車関連、YRP野比にあるIT関係、情報関係がそれにあたると思っている。ただ、観光を基幹産業にするのは難しいと思っているので、この計画の中では「産業の柱にする」という言葉を使用している。  
観光産業は、雇用という側面で非常に期待できると思う。
- ・戦略としては観光立市という明確な目標があるので、どういう人に向けて、どういうものをしていくかを明確にしていかなければならない。

## 3 観光力について

- ・「場の力」について、羽田に近いのも凄く有利な条件だと思う。ただ現状は、東京への来訪客が多数だと思うので、南下してもらうにはどうすれば良いのかが重要である。また、クルーズ観光も増えているので、港の存在も大きい。